



2023年5月9日

各 位

会 社 名： 新都ホールディングス株式会社
代表者名： 代表取締役社長 鄧 明輝
(コード番号:2776 東証スタンダード)
問合せ先 取締役 半田 紗弥
電 話 03-5980-7002

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、令和5年4月28日付けで関東財務局へ提出いたしました令和5年1月期の内部統制報告書に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載致しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、第39期の期末監査及び内部統制評価手続において、監査法人アリアより、当初想定した決算スケジュール通りに業務が実行できず、決算確定作業や監査対応に時間を要した上に決算開示内容を一部訂正するなどの事態も生じたことから、当社の経理体制や連結決算体制が今回のようなリスクにも対応し、速やかで確実な決算業務が遂行可能な体制となっておらず、決算・財務報告プロセスの改善が必要であるとの指摘を受けました。

これらの財務報告に係る内部統制の不備は、財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、当社は、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。したがって 当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効ではないと判断いたしました。

2. 事業年度末に是正できなかった理由

当該事業年度の末日までに是正できなかった理由は、当該重要な不備の判明が当事業年度末日後になったためです。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、適正な管理体制を整えるべく、専門家の配置や決算処理を適切に遂行するための能力と経験を有した人員の補強等を実施し、有効な決算・財務報告プロセスを構築してまいる所存であります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、すべて連結財務諸表及び財務諸表等に反映しております。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見であります。

以上